

P2Mプロジェクト&プログラムマネジメント講習会の開催に当って

プロジェクトマネジメント（PM）は、今やあらゆる産業、あらゆる分野に適用され、普及しています。現代の激しい変革の時代においては、PMは競争力の源泉であると認識されつつあり、世界の一大潮流となっています。又、欧米では、PM資格は最も人気の高い資格の一つでもあります。

しかしながら、わが国におけるPMの普及のテンポは、欧米に比べて著しく立ち遅れており、とりわけPMを具体的に実践し、遂行する人材の養成が急務の課題になっています。PMの実践に中心的役割を果たす優秀なプロジェクトマネジャーの育成は、最重要の課題であるといえます。

（財）エンジニアリング振興協会では経済産業省の委託事業として3ヵ年計画で新しい日本型PM知識体系の確立とPM資格制度の創設に取り組んできました。その結果、新しいPM標準ガイドブック「プロジェクト&プログラムマネジメント」（略称P2M）が完成し、資格制度が出来上がりました。そして、このP2Mの普及・啓蒙、資格制度の実施を担当する母体として「特定非営利活動法人プロジェクトマネジメント資格認定センター（略称：PMCC）」が平成14年に設立され、PMCCによる資格認定制度がスタートいたしました。

PMCCではP2Mに基づくプロジェクトマネジャー育成のために必要と考えられる基礎知識や管理技術を幅広く体系的にとりまとめ、プロジェクトマネジメント・スペシャリスト（PMS）を対象としたカリキュラムを作成し、講習会を開催しております。

本講習会は、P2Mの開発に携わった専門家を含む多数のPMの専門家を講師陣に迎え、実務経験も反映した講義内容は最近の業界ニーズや時代の要請を踏まえ、プロジェクトマネジャー育成に十分お役に立つ内容となっております。またPMS資格試験は、本年8月29日（日）に予定しております。皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

本講習会（PMSレベル）プログラムの特長

- ◆ P2Mに基づくプロジェクトマネジメントの実践に必要な基礎的概念、知識、管理技術を幅広く体系的に習得することを目指した科目構成でPMS資格試験にも対応
- ◆ 講師陣は多種多様なプロジェクトマネジメント・ビジネスに従事し、専門的かつ豊富な体験を有する実務者中心に編成
- ◆ ご参加いただきたい方々
 - * プロジェクトマネジャーおよびその候補者の方々
 - * 新規プロジェクトの企画・推進に携わるビジネスマネジャーの方々
 - * 業務改革・組織改革を推進するマネジャーレベルの方々
 - * PMS資格試験の受験をする予定の方々

講習会カリキュラムの概要

（講師の都合によりプログラム・科目を変更する場合がありますので、予めご了承ください。）

月日	科目・内容
<p>1日目 6月26日(土)</p>	<p>1. プロジェクトマネジメントエントリー (P2M ガイドブック:第1部) ・プロジェクトマネジメントと使命達成方職業人 ・P2M における構成の工夫と学び方 ・プロジェクトマネジメントの使い方 ・P2M タワー</p> <p>2. プロジェクトマネジメント (P2M ガイドブック:第2部) ・プロジェクトマネジメントとは何か? ・プロジェクトマネジメントの共通観 その他</p> <p>3. プログラムマネジメント (P2M ガイドブック:第3部) ・プログラムとは ・プログラムの現代的意味 ・プログラム統合の考え方 その他</p>
<p>2日目 6月27日(日)</p>	<p>4. プロジェクト戦略マネジメント (P2M ガイドブック:第1章) ・戦略的プロジェクトの評価システム・プロジェクト基盤システム</p> <p>5. プロジェクトファイナンスマネジメント (P2M ガイドブック:第2章) ・基本構想の創出と選択 ・最適リスク分担、調整、契約</p> <p>6. プロジェクトシステムズマネジメント (P2M ガイドブック:第3章) ・システムズエンジニアリング ・システムズアプローチ</p> <p>7. プロジェクト組織マネジメント (P2M ガイドブック:第4章) ・プロジェクトチーム ・プロジェクトマネジャーの資質と育成</p>
<p>3日目 7月3日(土)</p>	<p>8. プロジェクト目標マネジメント (P2M ガイドブック:第5章) ・ライフサイクルマネジメント ・スコープマネジメント 他</p> <p>9. プロジェクト資源マネジメント (P2M ガイドブック:第6章) ・資源計画の策定 ・資源計画の実施 その他</p> <p>10. リスクマネジメント (P2M ガイドブック:第7章) ・リスクマネジメントの基本 ・リスクへの対応策準備他 その他</p>
<p>4日目 7月4日(日)</p>	<p>11. 情報マネジメント (P2M ガイドブック:第8章) ・情報体系とプロジェクトの構造 ・情報処理機能の類似と関係</p> <p>12. 関係性マネジメント (P2M ガイドブック:第9章) ・関係性の維持 ・関係性の再構築</p> <p>13. バリューマネジメント (P2M ガイドブック:第10章) ・価値の認識と評価 ・価値の源泉 その他</p> <p>14. コミュニケーションマネジメント (P2M ガイドブック:第11章) ・通常業務におけるコミュニケーション ・コミュニケーションのあり方</p>

受講申込方法

- 受講申込書の太線内に必要事項を記入してください。
- 受講申込書に振込金受取書（兼手数料受取書）を貼付して、下記まで FAX または郵送にてご送付ください。

（送付先） プロジェクトマネジメント資格認定センター

〒105-0004 東京都港区新橋2丁目6番1号 さくら新橋ビル8階

FAX：03-3539-1741

6月21日（月）必着

アンケート票は任意記入ですが、今後の講習会の参考になりますので、できるだけアンケートにお答えくださるようお願いします。

なお、集計の結果は資料として公表する場合がありますが、個人のデータに関しては非公開を厳守いたします。

受講費用のお支払い

受講費用は下記の指定銀行口座へお振込ください。受講申込書に振込金受取書のコピーを貼付願います。恐縮ですが、振込手数料は各自ご負担いただくよう、お願いいたします。お振込いただいた受講費用は原則として返還しません。

尚、受講生が10名に満たない場合で開講しなかった場合は、お振込み頂きました受講料は全額ご返却いたします。

振込先口座名：プロジェクトマネジメント資格認定センター

東京三菱銀行 本店 普通預金口座 7655251

事前学習資料

1. P2M 標準ガイドブックを受講前にご購入になり、一読されることをお勧めします。
全国の書店で販売しております。（上下巻合わせて2,800円＋消費税）
尚、（<http://www.pmcc.or.jp/> に P2M の購入方法が説明されています。）
2. 参考書籍として次の本が出版されています。
「めざせ P2M プロジェクトマネジャー」日本能率協会マネジメント出版
（2,200円＋消費税）
「P2M 入門」小原重信著 （株）エイチアンドアイ出版（1,400円＋消費税）

講習会の当日

- 受付時間 午前9時20分までに、入室してください。
- 講義時間 午前の部：9時30分～13時
午後の部：14時～17時30分
(原則13時から14時までを昼の休憩といたします。昼食は各人取ってください。)
- 携帯品 P2M標準ガイドブック、筆記用具、メモ用紙、電卓等
尚、教材につきましては、講習会場(初日)でお渡しいたします。

お問合せ先

本件へのお問い合わせは下記までお願いいたします。

特定非営利活動法人プロジェクトマネジメント資格認定センター
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目6番1号 さくら新橋ビル8階
TEL：03-3539-3022(代表) FAX：03-3539-1741
E-mail：admi@pmcc.or.jp

その他

1. 本講座を受講した方は、特典としてPMS資格試験受験料が20%引きの40,000円となります。(通常価格：50,000円)
2. 本講座は、「厚生労働省教育訓練給付制度」の適用講座には指定されていないので、あらかじめご了承ください。

中国地区・PMS資格試験対応講座（4日間コース）受講申込書

FAX：03-3539-1741

		*受付欄	*再受付欄
*受講番号 (この欄は記入しないで下さい。)		*受講クラス (この欄は記入しないで下さい。)	
		性別（　で囲んで下さい。）	
		男	女
フリガナ		生年月日（西暦）	
氏名		年	月　日
フリガナ		電話番号	
現住所	〒		
フリガナ	所属部署・役職（又は、専攻科、学年）も記入願います。		
勤務先 (学校名)			
フリガナ		電話番号	
勤務先住所 (学校住所)	〒		
E-Mail	勤務先　ご自宅（どちらかに　をつけてください。）		FAX番号

記入上の注意

- 1．必ず申込者本人が記入して下さい。
- 2．*印のある欄は、記入しないで下さい。太線内は全て記入下さい。
- 3．日本国籍を有しない方は外国人登録証明書に記載されているとおり書いて下さい。
〔外国籍の方で郵便の宛先等に通称名を希望する場合は、**受講申込書**に通称名をカッコ書きで併記して下さい。〕

振込金受取書(兼手数料受取書)を貼付して下さい。(コピーでも可。)

